



沖縄県立宮古病院



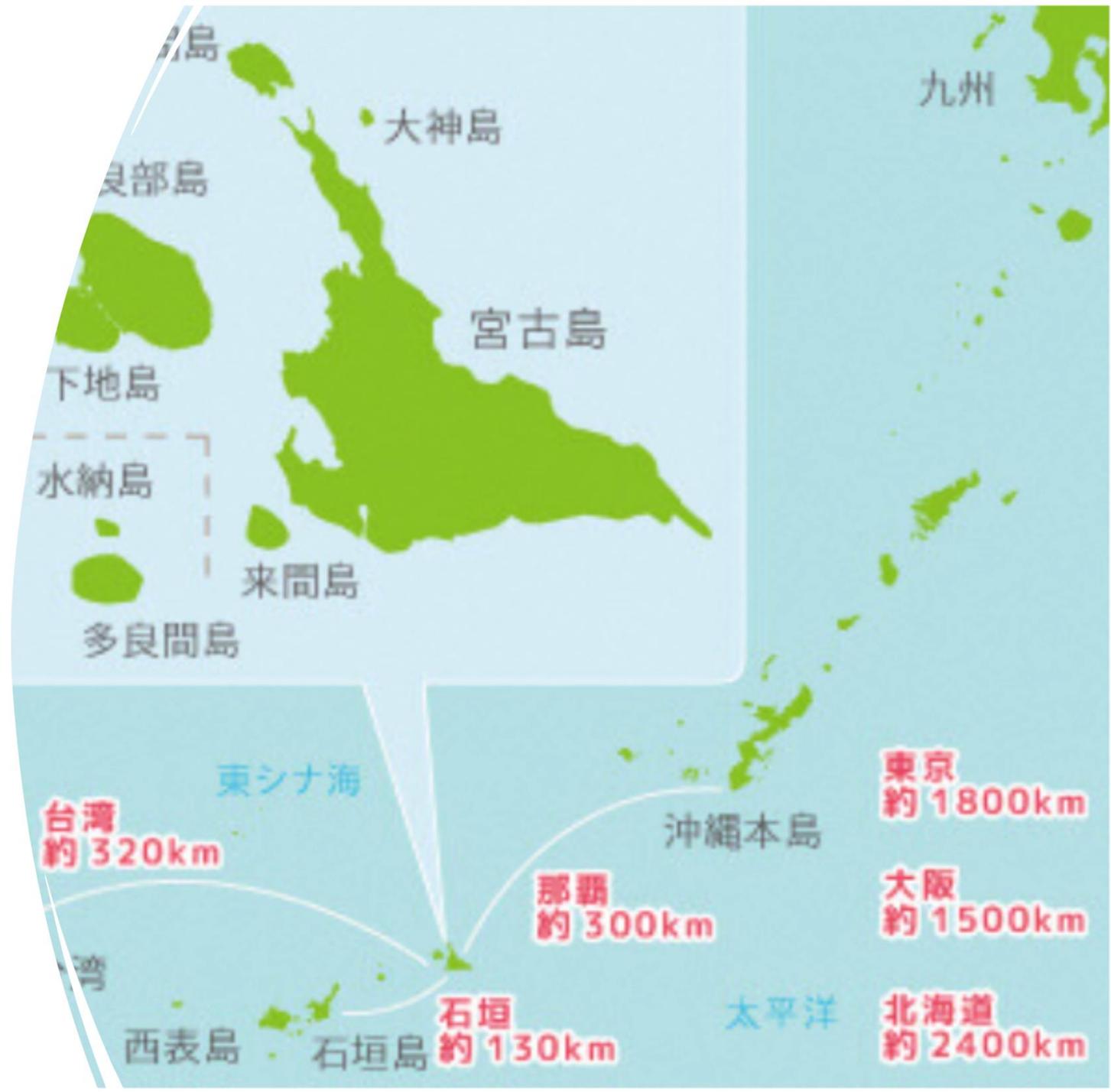
県立宮古病院

- 沖縄本島那覇まで約300km

- 宮古空港から羽田まで飛行機で約2時間30分

宮古医療圏

- 人口：53,036人（1市1村）
- 医療施設数：病院4件、診療所9件
- 10万人対病床数：1542床
- 現状と将来推計の比較で病床の差が大きい
- 在宅支援診療所が県内で最も多い。（対人口比）



高齢化



観光化



宮古島(宮古群島)の紹介

北緯 24~25度 東経 125~126度

東京から2000 km 沖縄島から290km 離れた洋上に浮かぶ大小8つの島々で構成されている(うち3島は架橋あり)。

人口は約55,434人(2020年1月時点,総務省国勢調査)、年間出生数が約600人

島内には3つの病院(当院、徳洲会病院、宮古島温泉リハビリ病院)と

37の開業医がある。精神科開業医が1施設。多良間島に附属診療所

国立療養所・宮古南静園(ハンセン病施設)

歯科医院 27施設

宮古島の高齢化率は県内5圏域で最も高く、平成27年(2015年)の24.9%から、2025年には31.7%、2040年には35.2%に上昇すると予測されている

国際化



リゾート化



2015 1・31 伊良部大橋開通

沖縄県立宮古病院概要

地域総合病院、地域中核病院として機能

16科 内科10名 **小児科4名** 外科5名 脳外科2名 整形外科3名

産婦人科3名 眼科1名 その他

276床 一般病床225床

(感染症6床、ICU4床、HCU4床、NICU3床、GCU6床を含む)

精神科病床45床

医師数は研修医含めて60名

研修教育機関 **基幹型研修病院** 協力型病院

- 1日平均入院患者数：218人（2020年）
- 1日平均外来患者数：487.8人（2020年）
- 平均在院日数：16.14日（2020年）
- 病床利用率：79.0%（2020年）
- 年間手術件数：1540件（2020年）

(緊急手術率：35.8%)

- 小児科医 4名

- 小児科病棟 (12床)

宮古医療圏内で唯一の小児入院施設。

- 正常新生児室・GCU・NICU

(それぞれ10床、6床、3床)

- リスクの高い妊婦のお産に対応する
女性病棟併設。

- 宮古医療圏内で呼吸、循環障害のある
新生児を全て取り扱う。



宮古病院小児科の特徴

当院小児科は、一次・二次救急を担っており、三次救急、高度医療が必要な患者さんは、必要であれば、沖縄本島の専門施設に紹介、搬送を行っております。

また、当院小児科外来の特徴として、多種の希少疾患を経験できること、定期的な専門外来の開設、児童精神科外来も開設し、連日多数多様の患者さんの診察を行っております。

新生児医療、救急医療からほぼすべての小児科対象疾患を対象とし、診療を行っております。

宮古病院の特長として、
検査・放射線技師さんやコメディカルを含めたあらゆる
メディカルスタッフの連携がシームレスにとれており、結構仕事量としては多岐にわたりますが、和気あいあいとした、笑顔あふれる職場環境が挙げられます。

楽しいですよ！

現在、成育医療センターから南部医療センター・子ども医療センターへ、3か月の研修が行われておりますが、最後の1か月は、研修した先生方の希望もあり、当院で研修を行わせていただいております。